

JR東労組盛岡

No. 49
2021年 2月 6日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目 16 番 31 号
発行人 佐々木克之
編集人 情宣部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

盛地申 第3号 「乗務員区所の体制見直し」に関する申し入れ交渉終了！！

第1項 これまでの盛岡運輸区釜石派出所の担ってきた役割を明らかにすること。

回答 盛岡運輸区釜石派出所については、主に釜石線を担当する乗務員区所としての役割を担ってきたと認識している。

(組合) 担ってきた役割として、会社回答の他にどのような役割を担ってきたのか。

【会社】乗務員区所の役割の中には、安全安定輸送で運行を担っていただいたことは前提としてある。また、乗務員養成区所として人材育成、釜石エリアにおける職場活性化、創意工夫したワンマン対応などの線区運行を担っていただいた。

(組合) 2011年東日本大震災が発生し、被災線区との位置付けの中でも、安全安定輸送を担ってきたと認識しているが、共通の認識か。

【会社】その通りである。

**これまで釜石派出所が沿岸エリアにおいて
様々な役割を担ってきたことを労使共通の認識として確認！**

第2項 本施策により異動する組合員・社員については、「新たなジョブローテーションの実施について」の考え方に基づき、家族状況や本人希望を最大限考慮し、納得感のある異動とすること。

回答 社員の異動については、任用の基準に則り取り扱うこととなる。

(組合) 新たな地で活躍してもらうためにジョブローテーションの考え方に基づき、自己申告書や社員の成長、多様な経験を積んでほしいという観点はこの間も議論してきた。職場が無くなるという必然的な要素はあるが、ジョブローテーションの考え方があっての異動という考え方は変わらないのか。

【会社】しっかりとジョブローテーションの考え方に基づいて考えている。異動という事に関する任用の基準に則り取り扱っていくという事で回答に示した。考え方自体が変わるというものではない。

(組合) 納得感を高めるためにも双方のコミュニケーションを高めていく必要がある。コミュニケーションを高めていく努力、納得感を高めていく努力は必要だ。

【会社】コミュニケーションを高めていく事が必ずしも納得感とイコールになるとは限らないが、コミュニケーションを高めていく事は必要。納得感も高めていく努力はしていかななくてはならない。

ジョブローテーションの考え方に基づき、コミュニケーションと納得感を高めていく必要性を一致！

第3項 本施策により異動する組合員・社員については、前広に次の異動先を提示し、安全かつスムーズに移管を行うと共に、安心できる生活環境を整えること。

回答 社員の異動については、任用の基準に則り取り扱うこととなる。

(組合) 釜石派出所社員が一番不安を抱いている部分である。青森運輸区廃止時には前広に次の異動先を提示していただき、非常にスムーズに移管できたと認識している。今回との違いは何か。

【会社】青森運輸区の廃止時は秋田支社も含めた最適な乗務員区所の在り方を検討してきた中で実施されてきた。今回は盛岡運輸区釜石派出所の業務を盛岡運輸区に集約するので盛岡運輸区内の業務執行体制の見直しと考えている。就業規則に則り、通常の異動と考えている。

(組合) 安全かつスムーズに安心して実施日を迎え、新たな土地、新たな場所で仕事ができる環境をいかに整えるかという視点から主張している。不安の声や意見があるという職場現実を認識していただいたと認めている。労働組合として引き続き求めて主張させていただく。

【会社】主張については承知した。交渉で出されたような社員の声を認識したうえで、実施日に向けてしっかり移行できるように努めていきたい。

**職場現実を主張するも、要求についての認識は一致せず！
職場の意見を主張し続け、実施に向けて一丸となって進もう！**